

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
公衆衛生学	大槻 誠	講義	2	栄養士必修	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	公衆衛生は、医療の基礎であり現代社会は、公衆衛生のシステムの上に日々の生活の安全が保障されている。公衆衛生学の目標は、個人および集団の健康を守り増進する事にある。本講義では、少子化や高齢化、生活習慣病など、わが国が抱える公衆衛生にかかわる様々な問題点を理解し、将来実践的に応用できる能力を身に着けることを目指す。						
到達目標	感染症の歴史から現代の健康問題と社会制度に至るまで、具体的な最新データを基に、社会や環境が人の健康に与える影響、および保健制度を正しく理解し、栄養士としての職務を遂行するのにふさわしい知識を習得することを目標とする。						
回	学習内容						
1	社会と健康						
2	環境と健康						
3	健康、疾病、行動にかかわる統計資料						
4	健康状態・疾病の測定と評価						
5	生活習慣の現状と対策						
6	主要疾患の疫学と予防対策						
7	保健・医療・福祉の制度						
8	地域保健						
9	母子保健						
10	成人保健						
11	高齢者保健・介護						
12	産業保健						
13	学校保健						
14	国際保健						
15	試験および試験終了後に、精神保健						
予習内容 復習内容	予習：教科書を通読する。必要に応じて関連する参考図書に目を通して予習する。 復習：教科書の該当部分および講義ノートを復習し、重要な語句などをノートに整理する。						
教科書	教科書：「社会・環境と健康」辻 一郎、吉池 信男 編著 南江堂 参考図書：「国民衛生の動向」厚生統計協会発行						
成績評価	試験 80%、小テスト（課題の場合もあり）20%。						
実務経験							
その他 特記事項	欠席は 5 回までとし、6 回以上の欠席者は正当な理由がない限り評価の対象外となります。						